

令和3年度第1回青森市健康福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議概要

1 開催日

令和3年8月27日（金）

※本審議会は、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、書面をもって開催することとしたため、意見等回答書の提出をもって出席とする。

2 開催方法

書面開催

3 意見等回答書の提出委員数

7名

出席委員数が半数以上のため、青森市健康福祉審議会条例第7条第2項に基づき、分科会の会議は成立した。

4 報告案件

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第7期計画の進捗状況について

意見あり 3 意見なし 4

5 意見等及び回答

別紙のとおり

令和3年度第1回青森市健康福祉審議会 高齢者福祉専門分科会（書面開催）
 青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第7期計画の進捗状況（令和2年度実績）
 意見等及び回答について

No.	施策番号	意見等	回答
1	1-1 2ページ	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施においてポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせることで高齢者の健康づくりを推進すべき	ハイリスクアプローチを行う中でつどいの場の参加勧奨をしたり、ポピュレーションアプローチを行う中で保健師や管理栄養士等が専門的なアドバイスするなど、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを相互に組み合わせることで実施しています。
2	1-3 4ページ	高齢者の就業促進について、高齢者の多くは製造業・小売業、サービス業をはじめとする市内の中小企業が就労の場であると思われる。「高齢者の就業促進」を検討していくにはそれらの就労状況についても今後、把握しておく必要があるのではないかと考えられました。	シルバー人材センターからの収集した情報や就業状態に関する統計等を参考にしながら、高齢者の就労状況の把握に努めます。
3	2-1 5ページ	在宅医療・介護連携推進事業 ①ZOOM などを利用したオンライン研修を実施すべき（開催回数を増やす） ②令和3年度介護報酬改定で求められる介護サービスの研修を開催すべき ③口腔ケア、栄養改善、運動機能向上の効果的な運用が急務。 （②と③については、口腔管理及び栄養管理、リハビリテーション・機能訓練が医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士等の多職種により総合的に実施されることが望ましいというご意見です。）	①昨年度から非集合型の研修を実施しており、今年度もオンライン研修を増やして実施することとしております。 ②③高齢者の在宅療養生活を支えるためには、多職種が連携して支援できる体制づくりが必要であり、今年度は多職種による在宅医療ケアに関する研修を開催するなど、多職種による総合的な実施に向け、一層の連携を図ってまいります。
4	2-2 6ページ	（機会があれば）チームオレンジの整備状況について、お聞きしたいと思います。	来年度以降の活動開始に向け、今年度は予算措置等を進めているところです。

No.	施策番号	意見等	回答
5	2-3 7ページ	<p>地域課題を現場と共有するという観点から地域ケア推進会議（できれば日常圏域ケア会議も）の議事内容（概要）を、高齢者分科会で報告していただきたいと思いました。（私の情報収集力が不足しているだけなのかもしれませんので、分科会の目的とズレているのであれば却下します）。</p>	<p>地域ケア推進会議等の概要については、今後は、高齢者福祉専門分科会の青森市高齢者福祉・介護保険事業計画の進捗状況報告時に実績と合わせてご報告します。</p>
6	—	<p>第7期計画について拝見させていただきました。事務局の皆様には本当にご苦労様です。特に第1章については、私共の住む地域で、例えば「ガンの死亡率が全国よりも高い水準にあるという現実がある」としたら大変ショッキングなことです。こうした問題を解決していくには、その原因となる地域特有の課題に着目して、地域住民1人1人が自覚し皆で解決に協力しあっていくことでしょう。</p> <p>何事でもそうですが、そこに住む地域の方々1人1人が地域の問題をよく理解し合い助け合えば、支え合い、助け合いの組織が生まれて、地域の人々1人1人のそして全体の幸せに結びつくと思います。</p>	